

市民の声

生涯学習市民開放プログラムを 受講して

船木 純一

還暦、企業戦線からの離脱。その反動からか拘束されない日々を謳歌していましたが、それも時間経過と共に食傷気味となった平成14年某日の市民学生募集の新聞記事。然も入試なし、先着順。

3月某日受付日、幸いにも受講申請OK。

授業開始初日、何しろ福大キャンパスに入るは、昭和20年代、戦災、震災からの立ち直りを示す福井振興博覧会以来、半世紀以上前、右往左往。でも、女子学生が多い、男女共今風ファッショナブル、学舎も立派、留学生も散見国際色豊かと私の退化した頭の片隅に残っていた福大の印象とは大変違いました。

教室では、私から見ると子と孫の間と思われる歳の新入生から、異様なおっさんが何故、此处にと凝視されましたが、講義試聴、教授から受講OK署名もいただき晴れて入学。

受講科目は英語、スピーキングとヒアリング。WHY ENGLISH? 企業戦士時代、ベトナム（勿論戦争終了後）業務出張、片田舎、ジャングル内でも通用、米ドル・英語。拒絶される日本円。全く通用しない日本語と対ドル為替が80円台、70円台も近い将来と思われ、世界各地で日本人が円高を謳歌出来た時代ですが、「腐っても鯛」アメリカの強大な底力、グローバルを痛感したからです。又、私の年代、勉強した(?)英語は、文語調英訳・英作中心で、話す・聴くは駄目で苦手の負い目もありました。それをマスターし、通訳なしで海外旅行を老前中期（私は、自己流ですが、50歳から75歳迄は老前、75歳からが老後と考えています）に楽しむ、これが目的でしたが、豈図らんや、若い学生諸君との交流、宿題、講義の緊張感、出勤時間より早い講義開始に早起き等、活力漲る現役時代と異質ですが規律ある日常日々を送るようになり、老前を楽しむようになりました。久し振りに学園祭にも参加させていただき、老前青春真っ只中の気分で、己の歳を忘れてしまいそうです。

受講して良かった。勧誘した友人2人からも大変感謝されています。

このような気概とチャンスを与えて下さった大学当局、教授の方々、学生諸君に感謝致しますと共に、市民学生は在学期限なしと伺っておりますので、気力続く限り、受講させていただきます。何卒、私の我儘暫時ご容赦下さいますようお願い申し上げます。